	令和3年度		事	業	実	績 幇	3 告	書				
								施設名:	向山ブルー	スカイ		
	向山ブルースカイ							職名	人数		備	考
施設長·管理者名							施設長	1名				
	就労継続支援B型						サ-	ービス管理責任者	1名			
開設年月日		平成3年4月1日						生活支援員	1名			
	鳥取県倉吉市和田東町向山914-58-2						職業指導員	4名				
	4名								名			
	2名								名			
契約職員数	1名	T	1						名	_		
定員	20人	実績利用者数 21.1/日	達成	率 10	5.5%			=1	名			
				•				計	7名			
項目		事業計画							事 業	実 績		
1 基 本 方 針 ご利用者様が、自立した日常生活及び、社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動・余暇活動の機会の提供を通じて、知識と能力の向上のために、必要な就労訓練と意欲向上を適切かつ効果的に行うものとし、一般就労に必要な知識能力が高まれば、一般就労に向けて支援をする。また、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、福祉関係サービス事業所との密接な連携を図り、総合的な福祉サービスの提供と「明るく、楽しく、元気よく」安心できる施設づくりに努める。 2 運 営 方 針 (1)ご利用者様の様々なニーズに適応する個別支援計画を作成し、支援計画に基づいた支援を進め、定期的なモニタリングから、良好かつ向上に繋がる就労と生活活動を提供して支援を行う。 (2)就労継続支援として、ご利用者様の意思を尊重し、働きやすい就業環境の整備を図り、生産活動や就労に必要な知識を高め希望・能力に応じて、一般就労への移行を目指す。また、個々の希望や能力に応じて、全てのご利用者様が、従事できる作業内容を整え工賃向上へ向かって取り組み、働きやすい作業環境を整えて行き、一般就労、自立へと繋がる支援を行う。 (3)障がい者就業地域生活支援センター等の関係機関と連携し、連絡調整等を行い、ご利用者様をしっかりと支えるサービスを行う。 (4)向上心が高く相手に対して言葉使いを正しく、"思いやり"と"感謝(おかげさま)の心"をもって、楽しく又和みやすい施設づくりを進める。 (5)安心して安全な生活ができる環境を作るため、施設内環境・施設外庭園整備の日毎月掃除の日を設ける。												
3 主な事業内容 (1)施設整備事業	(1)施設整備計画 なし				(1)施設整備実績 法面崩壊復旧事業 他 652千円							
(2)事業活動	① 体育活動 春季合同運動会・倉吉市身体障がい者体育大会・鳥取県身体障がい者体育大会 に参加して、地域・他施設との交流を図るとともに、健康な体力作りを行う。② 文化活動 ア.合同作品展を開催し、施設を公開して1年間の行事写真と職員も含めた個人作品を展示する。また、ご利用者様が担当する各種コーナーを作り、家族様・地域の皆様に見ていただき一緒に楽しみながら地域交流を行う。 イ社会見学研修旅行を通して、見聞を広めるとともに、ご利用者様と職員の親睦を図り支援サービスの向上を図る。				会を兼ねたスポーツ大会を行い健康な体力作りを行った。 ②文化活動 ア新型コロナウイルス対策の為、合同作品展が中止になったことから、倉吉市体育館を借りてアート・スポーツ大会を実施した。 イ・新型コロナウイルス対策の為、中部管内の名勝を見聞し、ご利用者様と職員							

	③ クラブ活動 毎月2回のクラブ活動:音楽・カラオケ・将棋・トランプ・園芸・茶話会・映画鑑賞を 行って、日々の楽しみと活力向上を図る。	③クラブ活動 毎月2回のクラブ活動:音楽・カラオケ・将棋・トランプ・園芸・茶話会・映画鑑賞を 行い、日常の楽しみと意欲・活力向上を図った。
4 安全管理·衛生	(1)ご利用者様が安心且つ安全に生活していただけるよう、安全対策委員会を開催したヤリハット・アクシデント・施設内点検の報告をもとに検証を行い、その結果を踏まえ、事故防止に努める。 (2)ご利用者様が安心して生活していただけるよう、設備・器具及び備品等の安全管理を行い物品等の整理整頓及び福祉用具等のメンテナンス等環境整備や建物の安全管理を行う。 (3)感染症予防対策感染症予防対策委員会を開催し衛生面の向上と感染症予防対策研修・アルコール消毒対策の徹底を図る。 (4)新型コロナウイルス感染症については、手洗い、マスク着用、手指アルコール消毒を徹底し、3密を防ぎ、感染拡大防止に十分配慮する。 (5)ご利用者様の健康管理を、毎月2回嘱託医による健康相談と年1回定期健康診断で行う。またトリシエエ房は、毎月検便を行う。 (6)職員健康管理は、年1回定期健康診断を行う。 (7)送迎業務の運転手について健康状況や体調等を把握し、適任者により運転させるとともに、必要に応じて運転手以外の介助職員を同乗させて、安全な送迎に配慮する。 (8)車両について使用前の日常点検などの安全管理を徹底するほか、運転の状況などを把握するため、運転日誌等の記録を行う。 (9)職員に対し、道路交通法等関係法令を遵守し交通安全に努めるように、研修などを通じて安全教育を実施する。	い、物品等の登埋登順及い偏征用具のメンテアン人等環境登偏を美施した。 (3)新型コロナウイルスを含め、感染症予防の為、感染症予防対策委員会を開催し予防対策・アルコール消毒対策の徹底を実施した
5 防災・火災、救・体制	助 防災計画及び災害対応マニュアルにより、防災及び災害時の人命の安全、被害の軽減を図る。 (1)ご利用者様の実態に即した防災訓練、防犯訓練、夜間想定、地震想定、消火訓練(最低年2回)及び災害訓練として風水害・土砂災害に対しての避難訓練を実施する。 (2)当施設は、高台に立地しており水害の懸念はないが、敷地法面崩落の危険及び施設へ行く道路が「土砂災害警戒区域」にあることから、災害対応マニュアルに沿った迅速かつ適切な対応ができる様に、避難訓練を実施し緊急時に備える。 (3)向山地内、施設周りの点検及び危険箇所の把握(環境整備)をし、安心して過ごせる環境を提供する。	害の軽減を図った。 (1)ご利用者様の実態に即した防災訓練・消火訓練・総合訓練を(8月12月)年2回実施した。 (2)当施設は、高台に立地しており水害の懸念はないが、敷地法面崩落の危険及び施設へ行く道路が「土砂災害警戒区域」にある。7月の集中豪雨により南側道路法面が崩壊するが、迅速かつ適切な対応を行った。 (3)向山地内、施設周りの点検・整備及び危険箇所の把握(環境整備)をし、安
6 職員の資質の「上と研修	 施設内外の各種研修を通して職員の資質の向上を図ると共に、専門知識及び技術の向上を目指す。 (1)外部研修への参加 ① 就労支援専門職研修会の参加を通じ、就労支援技術の習得を目指す。 ・鳥取県社会就労センター協議会への参加 ・鳥取県身体障害者福祉施設協議会への参加 ・鳥取県就労事業振興センター協議会への参加 	・中堅職員研修に参加し、みのり福祉会の基本理念、基本方針、行動指針、職員行動理念、法人の求める職員像、コーチングのスキルについて学んだ。また SDGs入門として説明等、取組目標について学んだ。 ・自閉症・発達障害の基礎理解支援再考研修に参加し、広汎性発達障害・多動性障害・自閉症の人たちとその家族が安心して暮らせる社会をめざして「自閉症・発達障害の基礎理解と支援再考」を学んだ。 ・職員の腰痛予防対策研修に参加し、腰痛を引き起こす原因予防対策について学んだ。

- ② 商品開発、販売研修会の参加を通じ、モチベーションアップ・自己研鑚を促し情報収集等による先進的な技術の習得に努める。
- (2)法人内部研修への参加

法人内の研修は、研修内容に応じた職員が参加し、施設の業務に活かす。

- (3)施設内のOJT・職場研修の実施
- ① 職員全員が輪となり繋がる心を持ち協力し合って働ける(協働と連携)チーム ワークを形成していくためにも、施設内会議、各種委員会、職場研修等でスキル アップを目指す。
- ② 研修参加者は、伝達研修を行い今後の支援に活かせるよう共通理解を図る。
- ③ 実務経験の少ない職員については、知識・技術・経験の高い職員により実務 を通した研修育成を行い、施設職員全体の知識能力向上を図る。
- (4) 職員の資格取得のための取り組み

法人の「国家資格等取得者に対する助成要綱」による資格取得に対する助成制度を活用し、職員の資格所得意欲とキャリアアップを促す。

- ・安全運転管理者講習(法定講習)に参加し、救急講習(心肺蘇生法・AED操作法)全国・鳥取県の交通事故の推移及び発生状況・異常気象時の運転について学んだ。
- ・障害者虐待防止研修に参加し、障害者虐待防止法の基本的内容、鳥取県の現 状虐待の種類等について、基礎的な知識や対応技法の習得と支援技術の向上 を図った。
- ・工賃向上研修会に参加し、"特定非営利活動法人 緑活"の事業の流れを例に、現在までの経緯の説明を受けた。平均工賃アップする運営について基本は 笑顔と元気=売上アップに繋がることを学んだ。
- ・施設職員交流実践研修会に参加し、綺麗なまちづくり活動を行った。また倉吉市内の社会福祉施設相互の交流・情報交換を行った。
- ・社会福祉施設安全衛生管理講習に参加し、労働災害発生状況、働く人に安全 で安心な施設作り、作業マニュアルの作成、高年齢労働者の安全と健康確保に ついて学んだ。
- ·苦情解決担当者研修に参加し、福祉サービスにおける苦情対応について学んだ。
- ・サービス管理者フォローアップ研修に参加し、マネジメントやスーパービジョン、 個別支援計画の作成など専門的技術向上等を向上させた。
- ・法人一般職員研修に参加し、職場のメンタルヘルス、専門性を活かして・コンプ ライアンス・チームワークについて学んだ。
- 権利擁護セミナーに参加し、権利擁護の本質について考え、学んだ。
- ・中部地域障害者自立支援協議会に参加し、障害者虐待防止に役立つ権利擁護支援のネットワーク作りについて学んだ。

7 各種団体との過 携と地域交流

7 各種団体との連 各種団体との連携と地域交流

ご利用者様やご家族様と、保育園・小学校、地域・団体等との交流の場を設ける等しながら、社会参加を積極的に図られることを目指す。

(1)広報誌の発行・配布

|発行回数:春·夏·秋·冬号 年4回

|配布先:市町社協、各障がい事業所、就労関係施設、役所等

- (2)地域交流行事
 - 5月:合同運動会
 - 6月: 倉吉市身体障害者体育大会
 - 7月: 倉吉養護学校産業現場実習
 - 10月:鳥取県身体障害者体育大会•倉吉養護学校産業現場実習
 - 11月:合同作品展
 - 1月:倉吉市部落解放文化祭・向山三施設とんど祭り
 - 2月:インターシップ職場体験実習

- ・広報誌を年4回発行し、社協・支援センター・障害事業所・関係施設に配布を 行った。
- ·合同運動会に代えて、グランドゴルフ大会を実施した。
- ・合同作品展に代えて美術作品製作とスポーツ大会を合同開催した。
- ・倉吉養護学校高等部生徒の受入産業現場体験交流を2回実施した。
- ・皆成学園の高等部生徒の施設見学会を行う
- ・向山ブルースカイ・向山保育園・みのりサングリーン合同「とんど祭り」を行った。

季節・年間行事 施設名: 向山ブルースカイ					
実施月	行事計画	行事実績			
令和3年 4月	・誕生会・創立記念会・花見外出・クラブ活動(月2回の開催)	・4/2花見会 ・4/9・23クラブ活動 ・4/16創立記念会 ・4/28誕生会			
5月	・誕生会 ・端午の節句会(I) ・合同運動会 ・クラブ活動	 ・5/7・14クラブ活動 ・5/14端午の節句会 ・5/26誕生会 ・5/28グラウンドゴルフ大会 			
6月	・誕生会 ・端午の節句会(Ⅱ) ・倉吉市身体障害者福祉協会体育大会 ・クラブ活動	・6/4・11クラブ活動 ・6/11端午の節句会ちまき作り ・6/25誕生会			
7月	・小遠足・七夕会・避難訓練・クラブ活動	・7/9・30クラブ活動 ・7/16小遠足			
8月	・誕生会・納涼会・クラブ活動	・8/6七夕会 ・8/6・20クラブ活動 ・8/26避難訓練 ・8/27納涼会			
9月	・誕生会・社会見学研修旅行・鳥取県障害者体育大会・クラブ活動	-9/3-17クラブ活動 -9/10社会見学研修旅行 -9/29誕生会			
10月	・誕生会・小遠足・ハロウィン祭・クラブ活動	・10/1.・8クラブ活動 ・10/13誕生会			
11月	・誕生会・合同作品展・避難訓練・クラブ活動	・11/2ハロウィン祭 ・11/5アート・スポーツ大会+クラブ活動 ・11/22小遠足 ・11/26誕生会 11/26クラブ活動			
12月	・誕生会・クリスマス会・忘年会仕事納め会・クラブ活動	・12/3避難訓練 ・12/29忘年会仕事納め会 ・12/3・17クラブ活動 ・12/8誕生会 ・12/24クリスマス会			
令和4年 1月	・誕生会・仕事始会・とんど祭り・クラブ活動	 ・1/4仕事始会 ・1/7・28クラブ活動 ・1/14とんど祭 ・1/21誕生会 			
2月	・誕生会・節分祭・クラブ活動	-2/4クラフ活動 -2/4節分祭 -2/24誕生会 -2/25映画観賞会			
3月	・誕生会 ・桃の節句会 ・記念撮影 ・クラブ活動	・3/4・11クラブ活動 ・3/25誕生会 ・3/25桃の節句会 ・3/30記念撮影			